

ヒユ科 ヒユ属

ハリビユ (針萵)

Amaranthus spinosus L.

自生環境

畑地、荒れ地、牧草地 など

原産地

熱帯アメリカ

予想される被害



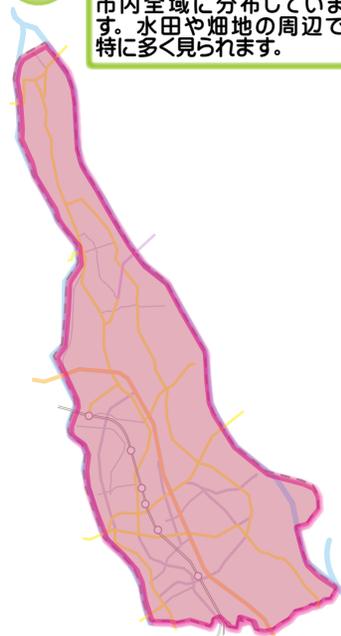
全体に鋭い刺を持ちます。また繁殖力がとても強く、耕されて根茎がバラバラになると、ちぎれた断片から復活してさらに増殖していきます。そのため畑に生えるととても厄介です。

特徴

- ★ 熱帯アメリカ原産で、日本には明治時代に渡来していたと言います。寒さにはあまり強くないことから、しばらくは西南日本のみでとどまっていたのですが、戦後、本州にも分布が拡大し、今は北日本にまで広がっています。現在は市内でもいたるところで普通に見られます。
- ★ 畑地や牧草地の周辺に多い1年草で、草丈は 40 ~ 80cm ほどになります。葉のつけ根や穂に鋭い刺があり、うかつに触るとかなり痛い思いをします。葉にはしばしば模様が入ります。
- ★ 夏から秋にかけ、茎の先に花の穂をつけます。穂の中に雄花と雌花が混在しています。雄花のがくは5枚、雌しべは5本です。葉のわきにも花が塊状につきます。晩秋~初冬にかけ、寒さに当たると鮮やかに紅葉し、特に茎は鮮烈な色味となります。

市内の分布状況

市内全域に分布していません。水田や畑地の周辺で特に多く見られます。



鋭い針を隠し持っている

ハリビユはその名の通り、体にとっても鋭い刺を持っており、うかつに触れると刺さってケガをするおそれがあります。しかしこの植物は、パッと見て刺があるのが分かりにくい点が厄介です。刺は葉のつけ根にあり、葉かげに隠れるようにあるのが原因です。また花期~果実期には、葉のつけ根にも花や果実がびっしりと塊状につくため、なおさら目立たなくなります。



花の穂はほとんど枝分かれせず長くのびる

葉のわきにも花の塊がつく



茎の先に花の穂がつく



雄花

雌花

雄しべ5本、がくは5枚

めしべの柱頭は長く3本



葉のわきや花の穂の中に鋭い刺がある



寒くなると全体が鮮やかに紅葉する

特に茎は鮮烈な赤紫色となり目立つ



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

